



盤上で熱い対局

新春囲碁・将棋大会

囲碁、将棋を通して親睦を深めようと、第二十六回新春囲碁・将棋大会（町同和対策推進協議会主催）が、一月十二日、町老人憩の家で開かれました。

この日は、囲碁・将棋の愛好者十九人が参加。盤上で熱戦が繰り広げられました。参加者は、一手一手を集中して指していました。

成績は次のとおりです。

（敬称略）

- 囲碁の部**
Aクラス
 優勝〓小谷豊（下榎） 二位
 〓西村正満（下榎） 三位
 遠藤均（榎市）



各クラスに分かれて真剣な対局が繰り広げられる

話題がおもしろ
 企画編集課まで
TEL 72-0332

- Bクラス**
 優勝〓金谷豊（根雨） 二位
 〓森吉紀久夫（根雨） 三位
 〓長住武義（金持）
将棋の部
 優勝〓中原孝博（下榎） 二位
 〓谷口祥侍（下榎） 三位
 〓中原信男（下榎）



新しい気持ちで筆を運ぶ会員ら

新たな気持ちで

日本語教室で書き初め

伝統文化に親しんでもらおうと、一月十四日、日本語教室（日野国際交流協会主催）が、山村開発センターで開かれました。

この日は、会員らが参加して書き初めが行われ、新たな気持ちで筆を運びました。参加した外国語指導助手のヘレンさんは、「書道は三回目です。字の止めやはねが難しいです」と書き初めに挑戦していました。

同協会は、毎月、日本語を学ぶ日本語教室や季節を通して日本の文化を伝えようと、さまざまな催しを開き国際交流を図っています。

古くから伝わるたこづくりに挑戦

子どもたち十五人が参加。たこづくり教室

子どもたちに昔の遊びに親しんでもらおうと、一月十一日、たこづくり教室が、山村開発センターで開かれました。子ども週末活動（町子ども週末活動支援ボランティアセンター主催）のこの日は、十五人の小学生らが参加。講師に松本節哉さん（本郷）を迎え、古くから伝わるたこづくりに挑戦しました。

子どもたちは、竹ひごを作ることから教えてもらい、下絵に好きな色を塗って自分だけのたこを作りました。

参加した音田光一さん（高尾）は「竹ひごを曲げるところが難しかった。早く自分の



講師の松本さんの指導を受ける子どもたち



小刀を使い竹ひごを作るところから挑戦

たこを揚げて遊びたい」と出来あがったたこを見て喜んでいました。

講師の松本さんは「子どもたちに、地域の伝統を伝えていきたい。そして、物を作る喜びを感じてほしいです」と話していました。

町子ども週末活動支援ボランティアセンターは、昨年からは始まった完全学校周五日制に伴い、地域の教育力向上、子どもの健全育成を図ろうと町公民館に設置されました。子ども週末活動は、自然・社会体験、ボランティア活動などさまざまな活動を支援しようとして、毎月開かれています。